

九条だより

第 151 号

北広島九条の会 2020・07・01 発行
事務局 梁川彰博 (ヤガワ アキヒロ)
TEL・FAX 375-9600
メール kitahiro-9jounokai@live.jp
ホームページ www.kitahiro9.org

◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇

7月7日(日)の例会を中止します。

新型コロナウイルス感染の危険を避けるために中止とします。

□□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□

国会の閉会に抗議します。「コロナ危機」にある今だからこそ開会して国民の負託に応えるべきです。

「河井夫妻逮捕」の責任、陸上イージスの計画停止、「コロナ補正予算」、黒川検事長退職など、課題は山積です。

小康状態にあるとはいえ「コロナ危機」は続きます。秋口から冬にかけて大きな波が押し寄せるとというのが専門家の判断です。いまそうした事態をむかえての準備を怠りなくすすめることが喫緊の課題です。

こうした対応に合わせて、「コロナ後」の市民生活のあり方について考えるきっかけを作っていきたいと思います。これまでの「人間生活の土台が崩れていくような」現状に、心を痛められている方が多いはず。 「コロナ後」を見据え、どうすれば「平和憲法下での新しい市民生活」を取り戻せるのか、ともに考えていきましょう。

◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇

北広島9条の会は、恒例の「9の日」署名 宣伝から活動を再開しました。

6月の「9の日」、「19の日」は『スタンディング』と『改憲発議をさせない署名』を実施しました。7月は9日(木)と19日(日)に行います。いずれも午後4時から、場所はJR西口前です。

なお例会の持ち方などは鋭意検討をしています。次号の「九条だより」ではお知らせができるようにします。また『改憲発議をさせない署名』は大いに進めようこの「九条だより」とともに署名用紙をお届けしますので、ぜひ皆様のご協力を引き続きよろしく願いいたします。中央九条の会の小森陽一事務局長からは自筆の「訴え」が届きましたので合わせてお読みいただければと思います。

東京都知事選始まる！7月5日投票。

宇都宮けんじ（健児）氏を野党共闘で擁立。日弁連の元会長で、「苦しむ人、弱い立場の人に寄り添ってきた最適のリーダー」（小林節慶応大名誉教授）です。

6月18日に告示、立憲民主党、共産党、社民党が推薦しました。全部で25の衆議院小選挙区で市民と野党の合同選対が作られています。また「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」が6月13日に連帯する声明を発表しました。21日にはJR中野駅北口にて、野党代表と市民の共同の街頭演説が開かれました。現小池百合子知事は4年前に公約したことをすべて投げ捨て、「新型コロナ」パフォーマンスばかりで都立病院を減らしてきた人です。生存権がかかった選挙、いのちと暮らしを守り抜く都政を作るために、お知り合いの都民の方に支持を訴えて下さい。

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

北広島市議会が開会「コロナ危機」にしっかり対応を！

6月市議会が開かれています。市民と野党の共同をすすめる立場の共産党3人、市民ネット2人、市民クラブ（立憲民主）1人、無所属3人の市議が質問に立ち、新型コロナウイルス対策や市民生活の改善について、市当局に姿勢をただしました。とくに新型コロナウイルス対策では、市民の不安が大きいことから、危機感を持って市は対応することが必要です。

当市においては、①PCR検査センターを作ること、②とりわけ「発熱外来」が必要です。この秋からのインフルエンザ流行をにらんだ対応が必須です、③感染防備の医療衛生器具の調達にいま全力を挙げること、④市民への感染情報の周知と徹底、⑤休校が続いたことによる学校現場での子どもたちへのフォロー、などが急ぎの課題となっています。

□□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□

◎募金のお願い 当会は会員制をとっていません。会の活動は皆さんの浄財が頼りです。いま活動の自粛が続き、財政がピンチです。是非皆さんのご協力をお願いいたします。

郵便振込み口座・北広島九条の会 02790-9-65384